

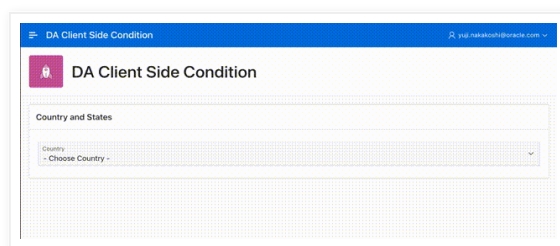
# 日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2021年2月18日 木曜日

## 動的アクションのクライアント側の条件を定義する

動的アクションのクライアント側の条件が動かない、との相談を受けました。少々確認が必要だったので、その作業を記録します。



クライアント側の条件のタイプとしてアイテム = 値を指定したときに、アイテムが選択リスト (LOV)だった場合、値としては画面に表示される値を指定するのか、ページ・アイテムとして保存される値を指定するのか？という点を確認しました。

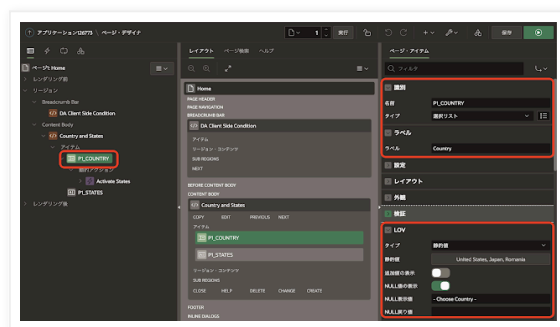
結果としては、ページ・アイテムとして保存される値です。LOVの設定としては表示値ではなく戻り値の方です。

確認のためにアプリケーションを作りました。

空のアプリケーション(名前をDA Client Side Conditionとしました)を作成し、ホーム・ページに静的コンテンツのリージョン(名前をCountry and Statesとしました)を追加します。

国を選択するページ・アイテムをP1\_COUNTRYとして作成し、タイプを選択リストにします。ラベルにはCountryを設定します。

LOVのタイプを静的値、追加値の表示はOFF、NULL表示値は- Choose Country -を指定します。



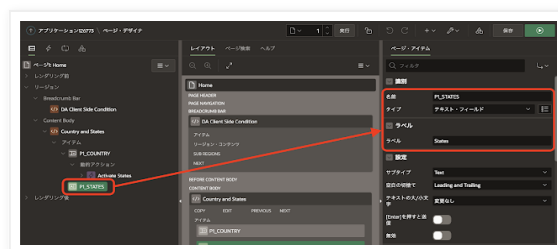
LOVの静的値として以下の3つを設定しました。

- 表示値: United States、戻り値: US
- 表示値: Japan、戻り値: JP
- 表示値: Romania、戻り値: RO



一般的には、国情報はISO 3166に基づいたLOVを、共有コンポーネントにしている場合が多いと思います。

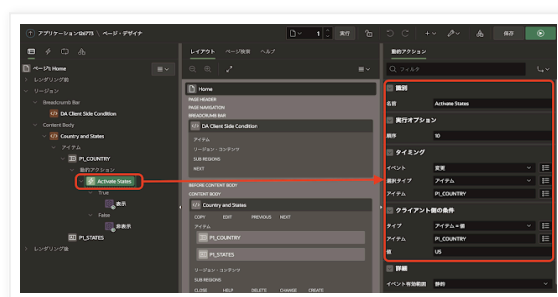
次に、州を入力するページ・アイテム**P1\_STATES**を作成します。これは動的アクションにて表示、非表示にするためだけに使用するので、州の一覧を選択リストにするといった凝ったことは行いません。**ラベル**は**States**と設定します。



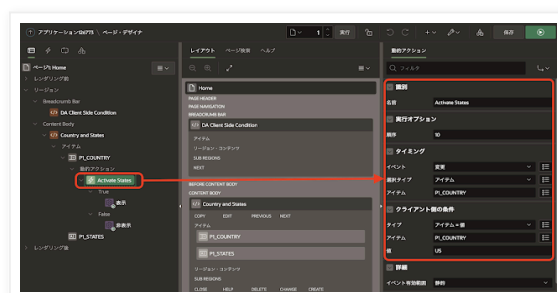
国としてUnited Statesが選択されたときにページ・アイテムP1\_STATESを表示し、そうで無い時は表示しない動的アクションを定義します。

名前を**Activate States**とし、**タイミング**は**イベント**が**変更**、**選択タイプ**は**アイテム**、**アイテム**は**P1\_COUNTRY**とします(P1\_COUNTRYにたいして動的アクションの作成を行うと、デフォルトでこのタイミングになるはずです)。

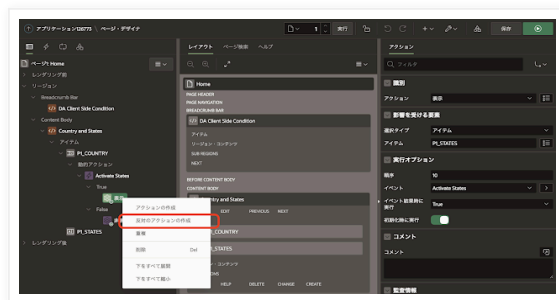
クライアント側の条件は**タイプ**が**アイテム = 値**、**アイテム**が**P1\_COUNTRY**、**値**は**US**とします。



Trueアクションとして、識別の**アクション**が表示、**影響を受ける要素**として、**選択タイプ**を**アイテム**、**アイテム**を**P1\_STATES**として、アクションを作成します。



作成したTrueアクションにたいして、**反対のアクションの作成**を実行すると、ページ・アイテム P1\_STATESを非表示にするFalseアクションが作成されます。



以上で動作を確認するためのアプリケーションが作成できました。アプリケーションを実行すると、最初のGIF動画の動作が確認できると思います。

作成したアプリケーションのエクスポートを以下に置きました。

<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/daclientsidecondition.sql>

Oracle APEXのアプリケーション開発の一助になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 10:53

共有

<

ホーム

>

ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

詳細プロフィールを表示

Powered by Blogger.